教職大学院だより

熊本大学大学院教育学研究科　令和5年5月1日発行

令和５年度　熊本大学教職大学院スタート

熊本大学教職大学院は７年目を迎えました。今年度はストレートマスター１７人、現職教員７人、合計２４人が入学しました。本格的に授業も始まり、少しずつ互いのことを知り、親交を深めています。

現職教員と学部新卒生のストレートマスターが、理論と実践を往還し、切磋琢磨しながら学びを深めていきます。25 人の２年生とともに、「これからの教育の在り方」を求めていきます。

熊本大学大学院教育学研究科長　藤田　豊

今年度４月から教育学研究科長を併任することになりました藤田です。昨年度、教員免許更新講習が廃止されました。「令和の時代の学校教育に求められる“多様な専門性を有する”教員の資質や能力」とは？そして、「教員に求められる新たな学びの姿」とは？これからの教員養成系大学・学部、教職大学院、附属学校の教育課程に課せられた大きな問いです。できるだけ学校現場に出掛けて、教職大学院生の皆さんと一緒に答えを探していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

P1院生による授業紹介

「21 世紀型能力（確かな学力）」を育成する協働的な学びの授業デザイン

「学力の３要素」「資質・能力を育む」「協働な学び」「主体的・対話的で深い学び」…、これまで何度も耳にしてきた言葉であり、その本質について考え、どのように実現するのか、格闘してきた言葉です。授業の中で、改めてこれらを問い直し、考えを深めています。現職教員だけでは気づかない視点をストレートマスターから学んでいます。

「新しい考えが手に入る、そして更新される！」そんな学びが深い学びではないか…と、グループで話をしながらたどり着きました。これからさらに学びが広がっていくだろうなぁと、今後の学びの時間に期待し、ワクワクしています。

（P１野入明子）

P２院生による研究紹介

中学校英語科における即興的に伝え合う話す力を育成する指導法の研究

「外国語を活用し、世界の人と互いのことを伝え合う経験をしてほしい。」と考え、研修留学生と協働し、Zoom を活用して、インドネシアの中学校と国際交流を行いました。交流を通して、多くの生徒が異文化交流の喜びを実感する一方、「伝えたいことを外国語で伝えることができなかった。」「もっと話す力を伸ばしたい。」と振り返る生徒もいました。即興的に伝え合う話す力を育成することの必要性が明確になりました。そこで、外国語で即興的に伝え合う話す力を育成する指導法の研究を行っています。今後も生徒の充実感が高まるような実践を行っていきたいです。

（P２原田明美）